

DRUG

INFORMATION



2016 No. 11

平成28年3月4日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について..... 1

(平成28年3月3日 薬事委員会結果報告)

- ❶院内新規試用医薬品
- ❷院内採用中止医薬品
- ❸名称類似品目の見直しに伴う採用中止医薬品
- ❹製剤変更医薬品
- ❺規格変更医薬品
- ❻採用変更医薬品
- ❼販売中止医薬品
- ❽院外採用中止医薬品

2. 新規採用医薬品情報..... 4

- 【院内新規試用医薬品】
- 【製剤変更医薬品】
- 【規格変更医薬品】
- 【採用変更医薬品】

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp

①院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
アシテアダニ舌下錠 100 単位(ヤケヒョウヒダニエキス原末、コナヒョウヒダニエキス原末)	減感作療法薬
デカドロン錠 4mg(デキサメタゾン)	副腎皮質ホルモン製剤
ベルソムラ錠 15mg(スボレキサント)	催眠剤
リン酸コデイン錠 5mg「ファイザー」(コデインリン酸塩水和物)	鎮咳剤
アコアラン静注用 600(アンチトロンビン ガンマ)	血液凝固阻止剤
アレルゲンスクラッチエキス陽性対照液「トリイ」ヒスタミン二塩酸塩	診断用薬
献血ヴェノグロブリン IH5% 静注 5g/100mL(人免疫グロブリン)	血漿分画製剤
ミオテクター冠血管注(配合剤)	心臓外科手術時心筋保護剤
塩酸メピバカイン注シリンジ 1%「NP」(メピバカイン塩酸塩)	局所麻酔剤
リユープリン PRO 注射用キット 22.5mg(リユープロレリン酢酸塩)	LH-RH 誘導体
注射用レザフィリン 100mg(タラボルフィンナトリウム)	光線力学的療法剤

⇒ 平成 28 年 3 月 23 日より処方開始の予定です。

②院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
アモバン錠 10mg(ゾピクロン)	催眠・鎮静剤
セルテクト錠 30mg(オキサトミド)	抗アレルギー剤
S・M 配合散(配合剤)	総合健胃剤
オーキシス 9μg タービュヘイラー60 吸入(ホルモテロールフマル酸塩水和物)	β ₂ 受容体刺激剤
献血ヴェノグロブリン IH5% 静注 2.5g/50mL(人免疫グロブリン)	血漿分画製剤
オムニパーク 350 注 100mL(イオヘキソール)	造影剤
カルボカインアンプル 1% 10mL(メピバカイン塩酸塩)	局所麻酔剤
プロスコープ 300 注シリンジ 100mL(イオプロミド)	造影剤
ペガシス皮下注 90μg(ペグインターフェロンアルファ-2a)	インターフェロン製剤
ペグイントロン皮下注用 100μg/0.5mL(ペグインターフェロンアルファ-2b)	インターフェロン製剤
モリヘパミン点滴静注 300mL(配合剤)	肝不全用アミノ酸製剤

⇒ 院内の在庫がなくなり次第、処方中止とします。

③名称類似品目の見直しに伴う採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	(外):院外専用医薬品	薬品分類
酸化マグネシウム細粒 83%「ヨシダ」0.4g/包(酸化マグネシウム) ^(外)		緩下剤
酸化マグネシウム細粒 83%「ヨシダ」0.6g/包(酸化マグネシウム) ^(外)		緩下剤

⇒ 院外調剤薬局の在庫状況を判断した上で中止とします。

④製剤変更医薬品

旧医薬品名 ⇒ 新医薬品名	(外):院外専用医薬品	薬品分類
シングレア錠 10mg ⇒ シングレア OD 錠 10mg		抗アレルギー剤
フリバス錠 25mg ⇒ フリバス OD 錠 25mg ^(外)		前立腺肥大治療剤
フリバス錠 50mg ⇒ フリバス OD 錠 50mg		前立腺肥大治療剤
フリバス錠 75mg ⇒ フリバス OD 錠 75mg ^(外)		前立腺肥大治療剤
ユリーフ錠 2mg ⇒ ユリーフ OD 錠 2mg ^(外)		前立腺肥大治療剤
ユリーフ錠 4mg ⇒ ユリーフ OD 錠 4mg		前立腺肥大治療剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

処方箋の薬品名を「～OD 錠(～錠変更可)」と記載し、調剤薬局薬剤師の判断で疑義照会なしで従来の製剤でも調剤ができるように致します。

⑤規格変更医薬品

旧医薬品名 ⇒ 新医薬品名	薬品分類
20%マンニトール注射液「YD」500mL ⇒ 20%マンニトール注射液「YD」300mL	脳圧低下・浸透圧利尿剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

⑥採用変更医薬品

旧医薬品名 ⇒ 新医薬品名	薬品分類
メテルギン錠 0.125mg ⇒ メチルエルゴメトリン錠 0.125mg「あすか」	子宮収縮止血剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

⑦販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	(外):院外専用医薬品	薬品分類
ジヒデルゴット錠 1mg(ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩) ^(外)		起立性低血圧・血管性頭痛用剤
ブロチンシロップ 3.3%(桜皮エキス)		鎮咳去痰剤

⇒ ジヒデルゴット錠については、院外調剤薬局の在庫状況を判断した上で中止とします。
 ブロチンシロップについては、旧製剤の在庫がなくなり次第、中止とします。

⑧院外採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ソブリアードカプセル 100mg(シメプレビルナトリウム)	C型肝炎治療剤
エピビル錠 150mg(ラミブジン)	HIV感染症治療剤
ザイアジェン錠 300mg(アバカビル硫酸塩)	HIV感染症治療剤
レトロビルカプセル 100mg(ジドブジン)	HIV感染症治療剤
ストックリン錠 600mg(エファビレンツ)	HIV感染症治療剤
ビラミューン錠 200mg(ネビラピン)	HIV感染症治療剤
メジコン散 10%(デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物)	鎮咳剤
ナボールパップ 140mg(ジクロフェナクナトリウム)	経皮鎮痛消炎剤
カトレップテープ 70mg(インドメタシン)	経皮鎮痛消炎剤
モーラスパップ 30mg(ケトプロフェン)	経皮鎮痛消炎剤
アノーロエリプタ7吸入用(ウメクリジニウム臭化物、ビランテロールトリフェニル酢酸塩)	COPD治療配合剤

⇒ 院外調剤薬局の在庫状況を判断した上で中止とします。

【院内新規試用医薬品】

▶アシテアダニ舌下錠 100 単位 (IR)

Actair (配合錠) 100 単位/錠 [塩野義]

【薬価】67.1 円/錠

1 錠中:

ヤケヒョウヒダニエキス原末	50 単位 (IR)
コナヒョウダニエキス原末	50 単位 (IR)

【効】ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎に対する減感作療法

【用】(内) 成人及び 12 歳以上の小児には、1 回 100 単位 (IR) を 1 日 1 回舌下投与から開始し、1 回投与量は 100 単位 (IR) ずつ、300 単位 (IR) まで増量する。漸増期間は、原則として 3 日間とするが、患者の状態に応じて適宜延長する。舌下投与後は完全に溶解するまで保持した後、飲み込む。その後 5 分間は、うがいや飲食を控える。

(デキサメタゾン)

▶デカドロン錠 4mg

Decadron 4mg/錠 [日医工]

【薬価】37.8 円/錠

【効】①慢性副腎皮質機能不全(原発性、続発性、下垂体性、医原性)、急性副腎皮質機能不全(副腎クリーゼ)、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症(甲状腺(中毒性)クリーゼ)、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH 単独欠損症、特発性低血糖症、下垂体抑制試験、関節リウマチ、若年性関節リウマチ(スチル病を含む)、リウマチ熱(リウマチ性心炎を含む)、リウマチ性多発筋痛、強直性脊椎炎(リウマチ性脊椎炎)、エリテマトーデス(全身性及び慢性円板状)、全身性血管炎(大動脈炎症候群、結節性動脈周囲炎、多発性動脈炎、ヴェゲナ肉芽腫症を含む)、多発性筋炎(皮膚筋炎)、強皮症、ネフローゼ及びネフローゼ症候群、うっ血性心不全、気管支喘息、喘息性気管支炎(小児喘息性気管支炎を含む)、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒(薬疹、中毒疹を含む)、血清病、紫斑病(血小板減少性及び血小板非減少性)、再生不良性貧血、白血病(急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病)(皮膚白血病を含む)、溶血性貧血(免疫性又は免疫性機序の疑われるもの)、顆粒球減少症(本態性、続発性)、潰瘍性大腸炎、限局性腸炎、重症消耗性疾患の全身状態の改善(癌末期、

スプルーを含む)、劇症肝炎(臨床的に重症とみなされるものを含む)、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎(活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型)(一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る)、肝硬変(活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの)、サルコイドーシス(両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く)、びまん性間質性肺炎(肺線維症)(放射線肺臓炎を含む)、重症感染症(化学療法と併用する)、肺結核(粟粒結核、重症結核に限る)(抗結核剤と併用する)、結核性髄膜炎(抗結核剤と併用する)、結核性胸膜炎(抗結核剤と併用する)、結核性腹膜炎(抗結核剤と併用する)、結核性心嚢炎(抗結核剤と併用する)、脳脊髄炎(脳炎、脊髄炎を含む)(一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること)、末梢神経炎(ギランバレー症候群を含む)、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症(視束脊髄炎を含む)、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎、悪性リンパ腫(リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症)及び類似疾患(近縁疾患)、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移、副腎摘除、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、侵襲後肺水腫、臓器・組織移植、蛇毒・昆虫毒(重症の虫さされを含む)、原因不明の発熱、卵管整形術後の癒着防止、前立腺癌(他の療法が無効な場合)、陰茎硬結、湿疹・皮膚炎群(急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎等)(重症例以外は極力投与しないこと)、痒疹群(小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む)(重症例に限る。固定蕁麻疹は局注が望ましい)、蕁麻疹(慢性例を除く)(重症例に限る)、乾癬及び類症(尋常性乾癬(重症例)、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿疱疹、ライター症候群)、掌蹠膿疱症(重症例に限る)、扁平苔癬(重症例に限る)、成年性浮腫性硬化症、紅斑症(多形滲出性紅斑、結節性紅斑)(多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る)、アナフィラクトイド紫斑(単純型、シェーンライン型、ヘノッホ

型) (重症例に限る)、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群(開口部びらん性外皮膚症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病(眼症状のない場合)、リップシュッツ急性陰門潰瘍)、レイノー病、円形脱毛症(悪性型に限る)、天疱瘡群(尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡)、デューリング疱疹状皮膚炎(類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む)、先天性表皮水疱症、帯状疱疹(重症例に限る)、紅皮症(ヘブラ紅色皰糠疹を含む)、顔面播種状粟粒性狼瘡(重症例に限る)、アレルギー性血管炎及びその類症(急性痘瘡様苔癬状皰糠疹を含む)、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ、内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法(ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺)、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合(眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎)、眼科領域の術後炎症、急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動(神経)性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症(枯草熱)、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、嗅覚障害、急性・慢性(反復性)唾液腺炎、難治性口内炎及び舌炎(局所療法で治癒しないもの)

②抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心・嘔吐)

【用】(内)①1日0.5～8mgを1～4回に分割投与する。
②1日4～20mgを1～2回に分割投与する。1日最大20mgまでとする。

(スボレキサント)

▶ベルソムラ錠 15mg

Belsomra 15mg/錠 [MSD]

【薬価】89.1円/錠

【効】不眠症

【用】(内)1日1回20mgを、高齢者には1日1回15mgを就寝直前に投与する。

(コデインリン酸塩水和物)

▶リン酸コデイン錠 5mg「ファイザー」

Codeine Phosphate 5mg/錠 [第一三共]

【薬価】10.3円/錠

【効】各種呼吸器疾患における鎮咳・鎮静、疼痛時における鎮痛、激しい下痢症状の改善

【用】(内)1回20mg、1日60mgを投与する。

(アンチトロンビンガンマ(遺伝子組換え))

▶アコアラン静注用 600

Acoalan 600 国際単位/V [日本血液製剤機構]

【薬価】32,999円/瓶

【貯法】遮光、2～8℃

【効】①先天性アンチトロンビン欠乏に基づく血栓形成傾向 ②アンチトロンビン低下を伴う播種性血管内凝固症候群(DIC)

【用】(注)本剤を添付の注射用水で溶解し、緩徐に静注もしくは点滴静注する。①1日1回24～72国際単位/kgを投与する。②1日1回36国際単位/kgを投与する。1日量として72国際単位/kgを超えないこと。

(ヒスタミン二塩酸塩)

▶アレルギースクラッチエキスを陽性対照液「トリイ」

ヒスタミン二塩酸塩 2mL/V [鳥居]

【薬価】7,966円/瓶

【貯法】遮光、2～8℃、禁凍結

【効】アレルギーによる皮膚反応の陽性対照

【用】(注)乱刺(プリック)又は切皮(スクラッチ)法により皮膚面に出血しない程度に傷をつけ、本剤1滴を滴下し、アレルギー検査時の陽性対照とする。

(ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)

▶献血ヴェノグロブリン IH5%静注 5g/100mL 特

Venoglobulin IH 5,000mg/100mL/V

[日本血液製剤機構]

【薬価】45,813円/瓶

【貯法】禁凍結、10℃以下

【効】①低並びに無ガンマグロブリン血症 ②重症感染症における抗生物質との併用 ③特発性血小板減少性紫斑病(他剤が無効で、著明な出血傾向があり、外科的処置又は出産等一時的止血管理を必要とする場合) ④川崎病の急性期(重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合) ⑤多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限る) ⑥慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の筋力低下の改善 ⑦全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る) ⑧天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合) ⑨血清IgG2値の低下を伴う、肺炎球菌又はインフルエンザ菌を起炎菌とする急性中耳炎、急性気管支炎又は肺炎の発症抑制(ワクチン接種による予防及び他の適切な治療を行っても十分な効果が得られず、発症を繰り返す場合に限る)

【用】(注)直接静注する場合は、極めて緩徐に行う

こと。①1 回 200～600mg(4～12mL)/kg を 3～4 週間隔で点滴静注又は直接静注する。②成人には 1 回 2,500～5,000mg(50～100mL)を、小児には 1 回 100～150mg(2～3mL)/kg を点滴静注又は直接静注する。③1 日 200～400mg(4～8mL)/kg を点滴静注又は直接静注する。5 日間使用しても症状に改善が認められない場合は、以降の投与を中止すること。④1 日 400mg(8mL)/kg を 5 日間点滴静注又は直接静注、若しくは 2,000mg(40mL)/kg を 1 回点滴静注する。⑤⑦成人には 1 日 400mg(8mL)/kg を 5 日間点滴静注する。⑥1 日 400mg(8mL)/kg を 5 日間連日点滴静注又は直接静注する。⑧1 日 400mg(8mL)/kg を 5 日間連日点滴静注する。⑨初回は 300mg(6mL)/kg、2 回目以降は 200mg(4mL)/kg を投与する。投与間隔は、4 週間とする。

▶ミオテクター冠血管注

Miotecter (配合剤)

[持田]

[薬価]1,904 円/組

A 液(495mL)：

塩化ナトリウム	3,214.2mg
塩化カリウム	596.4mg
塩化マグネシウム	1,626.4mg
塩化カルシウム水和物	88.2mg

B 液(5mL)：

炭酸水素ナトリウム	420mg
-----------	-------

【効】低体温体外循環下、大動脈を遮断し実施される心臓外科手術における、心停止及び心筋保護

【用】(注) 本剤は、用時 A 液に B 液を全量添加し、十分に混合して使用する。A 液に B 液を混合後、本剤を 4℃前後に冷却し、人工心肺装置を用い、患者を体外循環下に置き、体外循環灌流温を予定の低温にした後、上行大動脈を遮断し、直ちに、10～20mL/kg を、順行性冠灌流にて注入する場合は 2～4 分かけて冠状動脈(大動脈基部)に、また、逆行性冠灌流にて注入する場合は 4～7 分かけて冠状静脈(冠状静脈洞)に注入する。ただし、心停止が得られない場合は、心停止が得られるまで適宜増量する。また、同時に、心嚢内に 4℃前後に冷却した局所冷却液(生理食塩液、リンゲル液、乳酸リンゲル液等)を持続的若しくは定期的に注入し、あるいはアイススラッシュを用いて、心臓の局所冷却を維持する。以後、20～30 分ごとに、本剤(A、B 混合液)を初回注入量の半量を目安に心停止が維持できるよう追加注入する。また、途中で心機能が回復した場合、若しくは心筋温が 15～20℃以上に上昇した場合は、速やかに心停止が得られるまで追加注入を行う。本剤(A、

B 混合液)の注入に当たっては、順行性冠灌流を基本とし、順行性冠灌流のみでは本剤が心筋に十分行き渡らない可能性がある場合、逆行性冠灌流の併用あるいは逆行性冠灌流を行う。なお、1 手術当たりの注入量は、手術の種類や手術時間により異なる。注入に際しては、注入圧をモニターし、過度の注入圧を回避すべく注意する。

(メピバカイン塩酸塩)

▶塩酸メピバカイン注シリンジ 1%「NP」 (後劇)

Mepivacaine Hydrochloride 100mg/10mL/筒

[ニプロ]

[薬価]206 円/筒

【効】①硬膜外麻酔 ②伝達麻酔 ③浸潤麻酔

【用】(注) 基準最高用量は 1 回 500mg(50mL)とする。

① 100～300mg(10～30mL) ② 50～200mg(5～20mL)、指趾神経遮断：40～80mg(4～8mL) ③20～400mg(2～40mL)

(リユープロレリン酢酸塩)

▶リユープリン PRO 注射用キット 22.5mg (劇)

Leuplin PRO 22.5mg/筒

[武田]

[薬価]105,039 円/筒

【効】前立腺癌、閉経前乳癌

【用】(注) 24 週に 1 回 22.5mg を皮下注する。

(タラポルフィンナトリウム)

▶注射用レザフィリン 100mg (劇)

Laserphyrin 100mg/V

[Meiji Seika]

[薬価]387,208 円/瓶

【貯法】冷所

【効】①外科的切除等の他の根治的治療が不可能な場合、あるいは、肺機能温存が必要な患者に他の治療法が使用できない場合で、かつ、内視鏡的に病巣全容が観察でき、レーザー光照射が可能な下記疾患：早期肺癌(病期 0 期又は I 期肺癌) ②原発性悪性脳腫瘍(腫瘍摘出手術を施行する場合に限る) ③化学放射線療法又は放射線療法後の局所遺残再発食道癌

【用】(注) ①③40mg/m² を 1 回静注する。静注 4～6 時間後にレーザー光を病巣部位に照射する。②40mg/m² を 1 回静注する。静注 22～26 時間後にレーザー光を病巣部位に照射する。

【製剤変更医薬品】

(モンテルカストナトリウム)

▶シングレア OD 錠 10mg

Singulair OD 10mg/錠 [MSD]

〔薬価〕222 円/錠

【効】①気管支喘息 ②アレルギー性鼻炎

【用】(内) ①成人には 10mg を 1 日 1 回就寝前に投与する。②成人には 5～10mg を 1 日 1 回就寝前に投与する。

(ナフトピジル)

▶フリバス OD 錠 25mg

Flivas OD 25mg/錠 [旭化成ファーマ]

〔薬価〕49.1 円/錠

▶フリバス OD 錠 50mg

Flivas OD 50mg/錠

〔薬価〕99.2 円/錠

▶フリバス OD 錠 75mg

Flivas OD 75mg/錠

〔薬価〕146.7 円/錠

【効】前立腺肥大症に伴う排尿障害

【用】(内) 1 日 1 回 25mg より投与を始め、効果不十分な場合は 1～2 週間の間隔をおいて 50～75mg に漸増し、1 日 1 回食後投与する。1 日最高投与量は 75mg までとする。

(シロドシン)

▶ユリーフ OD 錠 2mg

劇

Urief OD 2mg/錠

〔薬価〕41.7 円/錠 [キッセイ]

▶ユリーフ OD 錠 4mg

劇

Urief OD 4mg/錠

〔薬価〕81.3 円/錠

〔貯法〕遮光

【効】前立腺肥大症に伴う排尿障害

【用】(内) 1 回 4mg を 1 日 2 回朝夕食後に投与する。

【規格変更医薬品】

(D-マンニトール)

▶20%マンニトール注射液「YD」

Mannitol 300mL/本 [陽進堂]

〔薬価〕411 円/瓶

【効】術中・術後・外傷後及び薬物中毒時の急性腎不全の予防及び治療する場合、脳圧降下及び脳容積の縮小を必要とする場合、眼内圧降下を必要とする場合

【用】(注) 1 回 5～15mL/kg を点滴静注する。1 日 1,000mL までとする。投与速度は 100mL/3～10 分とする。

【採用変更医薬品】

(メチルエルゴメトリンマレイン酸塩)

▶メチルエルゴメトリン錠 0.125mg「あすか」^②_①

Methylergometrine 0.125mg/錠 [あすか]

〔薬価〕9.9 円/錠

〔貯法〕遮光

【効】下記の場合における子宮収縮の促進並びに子宮出血の予防及び治療：胎盤娩出後、子宮復古不全、流産、人工妊娠中絶

【用】(内) 1 回 0.125～0.25mg を 1 日 2～4 回投与する。